

伊豆半島全域（ジオパーク）

地域づくりとジオパーク

メンバー

（地域経営）3年 沼井俊人
（地域環境・防災）3年 福本奈穂
（スポーツプロモーション）3年 森万穂里

指導教員：山本隆太、内山智尋

フィールドワーク実施協力者

一般社団法人 美しい伊豆創造センター ジオパーク推進部
伊豆半島ジオガイド協会
静岡県賀茂地域局
ふらっと月ヶ瀬
有限会社オートクラフト・IZU
スルガ銀行株式会社
株式会社伊豆バス

地域概要

伊豆半島は、静岡県東部に位置する火山によって形作られた半島である。漁業が盛んな伊東や西伊豆、温泉観光地である修善寺や熱海などがあり、2018年4月には伊豆半島内の15市町による取り組みがユネスコ世界ジオパークに認定された。ジオパークとは、地形や地質またそこに根付く文化や伝統を保全・活用していく場であり、日本国内では現在、ユネスコ世界ジオパークに10か所が認定されている。

伊豆半島ジオパークは、現在もプレートの動きによって地殻変動を続けており、火山や地震による様々な地形や資源がみられる。

私たちは、2015年の国連サミットで採択されたSDGsの「誰一人も残さない」という理念に基づいて、伊豆半島ジオパークを活用した自然の保護保全をベースとしながら、地域社会の産業、福祉、教育へと連続する一連の活動を行っている。

静岡県東部に
位置する
伊豆半島



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

私たちフィールドワークメンバーは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

これまでの活動

1 年目 (2017年度)	☆ジオパークについての学習 ☆ジオガイドとのワークショップ ☆パンフレット作り	2 年目 (2018年度)	☆SDGs肉まんの開発 ☆ジオパン開発、販売支援 ☆郷土料理についての学習
3 年目 (2019年度)	☆大学生を対象としたツアーの開設 ☆VR動画を利用した学習教材の開発 ☆食育教材の作成	4 年目 (2020年度)	☆伊豆：サイクリングルートの開発 ☆西伊豆：オンラインジオツアーの開発 ☆1年生へのガイドツアーの実施
5 年目 (2021年度)	☆松崎：ジオ・クア・ウォーキングの実施 ☆伊豆半島ジオパーク推進協議会と静岡県温泉協会イベント支援 ☆三島：高校生まちあるきの実施	6 年目 (2022年度)	☆伊東：漁業ワークショップの開催 ☆修善寺：防災サイトの使い方講座 ☆中伊豆×焼津：静岡おくみゆプロジェクトの実施 ☆伊豆：狩野城の御城印デザイン作成
7 年目 (2023年度)	☆スルガ銀行主催e-bikeツアーガイド ☆中部EPO SDGs学生サミット	☆おもしろ自転車×ふらっと月ヶ瀬	

これまで取り組んできたフィールドワークを振り返って

沼井：当初はジオパークや伊豆半島についての知識がゼロの状態でしたが、この2年半のFW活動を通じて伊豆半島やジオパークの魅力に大きく気づくことができました。自分自身がこの伊豆半島の魅力を感じることができたことをきっかけに、今度は自分が誰かに伊豆半島やジオパークの魅力を発信できる人になりたいと感じています。

森：私たちのフィールドでは、地域経営分野・地域防災分野・スポーツ分野の三つの分野の学生が所属しており、自分の分野以外の活動にも携わることができました。そのため、別視点から見た地域課題を考えるなどの新たな発見が多く、ジオパークについてより探求を深めることが出来ました。今後も多くの視点から物事を捉え、地域課題の解決に関して考えていきたいです。

福本：最初は何も知らない土地で自分達に何ができるのか分からず不安でしたが、地域の方々と関わる中で自然と地域への愛着が湧き、フィールドワークが終わっても関わりたいと思うようになりました。また、この地域で問題とされてることは他地域でも重要視されていることであるため、ジオパークフィールドで学んだ問題解決への取り組みを今後にも活かしていきたいです。

2024年度の活動について

【ふらっと月ヶ瀬防災イベント（福本）】

☆2024年6月15日に伊豆市の月ヶ瀬地区にある複合施設ふらっと月ヶ瀬にて防災啓発イベントを開催！

活動内容

月ヶ瀬地区地域づくり協議会の方々、ふらっと月ヶ瀬の職員の方々、伊豆市危機管理課の方々にご協力いただき防災イベントを開催した。

当日は70名ほどが参加し、避難所運営体験・救急救命訓練・消火訓練・消防車の見学、非常食の試食など5つのブースを設け、参加者が自由に回る形で開催した。事後アンケートの結果、「月ヶ瀬地区以外でも開催して欲しい」「定期的に開催して欲しい」「防災の大切さを感じた」など前向きな意見をいただいた。

一方、準備が開催ギリギリになってしまう、企画を立てる際双方の意見がすりあわせられていないなど課題も多く残った。このことから先を見通して計画を立てるとともに、事前の打ち合わせにおいて双方の考えを確認することが必要であることを再確認した。

※ふらっと月ヶ瀬：高齢者施設、こども園、障がい者施設、カフェで構成されている複合施設。また、地域住民の方々が交流する貴重な場。



イベントのチラシ

【インクルーシブ自転車を活用した、高齢者介護予防教室（森）】

☆2024年10月27日に伊豆市の中伊豆温泉病院にて、インクルーシブ自転車を活用した、高齢者介護予防教室を開催!!

概要

2024年10月27日に、伊豆市中伊豆温泉病院リハビリコースにて、インクルーシブ自転車を活用した高齢者介護予防教室を開催した。2023年度の活動でインクルーシブ自転車を活用したイベントを行った際に大人が子供に遠慮してしまう様子が見られ、後のアンケート調査でも「もっと乗りたいかった」という声をいただいたことから、大人向けのインクルーシブ自転車を活用したイベントの実施に至った。

活動内容

当日は、①介護予防講習会、②伊豆半島ジオスポット紹介、③お絵かき伝言ゲーム、④測定・マルシェというプログラムで行った。今回のイベントでは、集客活動に取り掛かるまでに時間がかかってしまった点や運営側への情報共有が不足してしまった点など反省点が多く見られた。イベントを開催する上で、様々なリスクマネジメントが必要になることを理解した。



伊豆半島ジオスポット紹介の様子



イベントのチラシ

※インクルーシブ自転車：株式会社オートクラフトIZUが制作する年齢・性別・経験・障がいの有無などに関わらず全ての人が楽しめる自転車のことである。

【スルガ銀行×伊豆市 e-bikeを活用したシティプロモーション（沼井）】

☆SNSで中伊豆のジオサイトの紹介×e-bikeのツアー動画を公開!!

活動内容

スルガ銀行さんの伊豆市のジオスポットのSNSシティプロモーションに取り組んだ。e-bikeで各ジオスポットを巡り、歴史や成り立ちなどのガイド解説を行った動画をスポットごとにSNS（X、Instagram、Facebook）で発信するといったものだ。動画内ではジオスポットの発信だけでなく、サイクリングと相性の良いジオ菓子をはじめとする伊豆半島のご当地グルメの紹介も取り入れた。

課題や反省点としては、今回のプロモーションによってその後、地域にどのような効果が生まれたのかが不明瞭な点である。今回のプロモーションは魅力に感じてもらい、足を運んでもらうことではじめて成功と言える。私自身、プロモーションを講じる上でその後のフィードバックの重要性を再確認した。

※e-bike：電動アシスト自転車

